



平成27年度  
鳴門教育大学小学校英語教育センターシンポジウム  
—4技能を統合化したコミュニケーション能力の育成をめざして—

11月7日(土)、シビックセンターにおいて、平成27年度小学校英語教育センターシンポジウム「4技能を統合化したコミュニケーション能力の育成をめざして」を開催した。平成17年度に小学校英語教育センターを設置し、小学校英語教育に関するカリキュラム開発、研修・支援プログラム開発等の取組を行っており、このシンポジウムはその事業の一つとして開催したものである。

シンポジウムでは文部科学省からの招聘講師による基調講演に加えて、小学校英語の教科化をテーマにすでに教科化に向けた取組をされている小学校の先生方から、これまでの取組の概要と成果や問題点について報告があった。また、今後外国語活動の成果を教科化にどう繋げていけばよいのかなど、教科化に向けての様々な課題について質疑応答を行った。

当日は、70人が参加し、盛況のうちに終了した。  
多数のご参加をいただきありがとうございました。

13:30~13:40 開会  
挨拶 鳴門教育大学 学長 田中雄三

A 13:40~15:00 基調講演  
【コミュニケーション能力の育成をめざして  
—自律した学習者を育てる—】

文部科学省 初等中等教育局 視学官 太田光春氏

B 15:10~16:10 パネルディスカッション  
【4技能を生かした3,4年生での外国語活動の進め方  
—鳴門教育大学附属小学校の取り組みから—】

鳴門教育大学附属小学校 教諭 青山祥子氏  
鳴門教育大学小学校英語センター研究補佐員 段本みのり氏

【『Hi, friends!』に基づいた単元ごとのリスニング教材の開発と  
その運用—指導と評価の一体化を目指して—】  
上越市立清里小学校 教諭 内山寿彦氏

C 16:20~16:50 フロアとの質疑応答

16:50~16:55 閉会  
挨拶 鳴門教育大学小学校英語教育センター所長 石濱博之



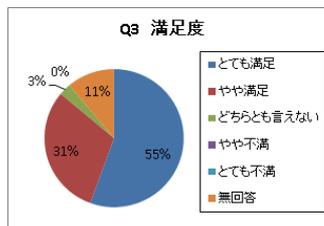
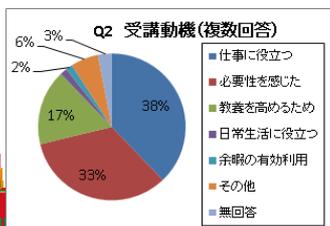
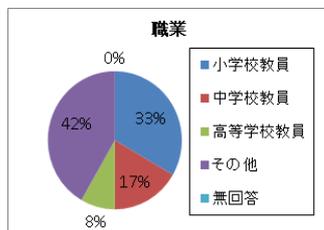
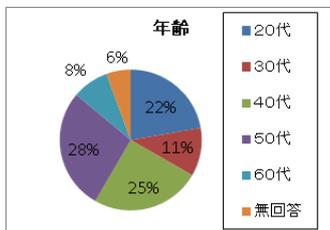
B



C



アンケート





## 小学校教員のためのワークショップ



A

平成27年10月8日、附属小学校にて、「小学校外国語活動で楽しく文字指導を継続する方法」と題してワークショップを開催いたしましたところ、平日の夜にもかかわらず、小・中教員、小学校英語サポーター、学生の皆様11名にご参加いただきました。

本ワークショップにはリピーターが多く、私の「読むこと」や「絵本」に関する講座を継続して受講されている方も多数いらっしゃるため、今回は「文字指導の継続」さらには「中学英語への橋渡し」にも言及する発展的な内容を含めました。次期学習指導要領改訂に伴い、小学校高学年から「読み書き」が始まることとなります。今から先行してその正しい指導法を学びたいという、意識の高い方々と情報やアイデアを共有しながら進めることができ、とても充実した時間を過ごすことができました。

今後も「小学校英語の発信地」としての役割を全うできるよう、常に最新の情報や指導法を地域の皆様に還元するように努めてまいります。(畑江)

A



B

平成27年11月18日、小学校英語教育センター主催の英語ワークショップで「ゲームの活動」についての講義をしました。ワークショップの前半で、授業の中でのゲームの意義や役割について説明をしました。授業の中でゲームの活動が有効であることを示しました。後半で、その講義に基づくワークショップを実施しました。段階を踏んだ多様なゲームで、具体的に四技能のうちどの技能をねらいとしているか、体験してもらいました。受講生は5名でしたが、その内容は好評でした。(石濱)



## 出張型研修

C

平成27年11月19日、山口県婦人文化会館カリエンテ山口にて、山口県教育委員会からの依頼に伴い、「JETプログラムによる山口県外国語指導助手指導力等向上研修会」の中で、「The Role of the ALTs in Foreign Language Activities in Japan」という内容で講演して参りました。

山口県のALT及び小中高英語教員の合計105名と、今後、中学年からの外国語活動や高学年での「読み書き」を含めた外国語科の指導にALTがどう関わっていくか等、フロアとの英語でのディスカッションも交え、積極的に意見交換をすることができました。ALTの抱える疑問や悩みにも少しでも答えることができたことしたら幸いです。そして、ALTには、今後小学校英語教育の中で、「あなたにしかできないことがある」ことに自信と誇りを持ってもらえるように、プログラムの内容の中に彼らの役割を明確化する必要性も感じました。山口県教育委員会の指導主事の先生からは、「理論に裏打ちされた指導上の工夫等についての講義は、ALT及び小学校の先生方にとりまして小学校外国語活動の指導方法を改めて見直すよい機会となりました。また、実践的な指導方法につきましても、指導場面を映像で見せるなど、中・高等学校のALT及び先生にとりましても、イメージがしやすく、指導に取り入れることのできるものが多く含まれておりました。次期学習指導要領における小学校英語の教科化に向けた最新の動向についても触れていただき、フォニックスなど「読み」「書き」の指導が始まること実感させられる内容でした。」とのお言葉をいただきました。(畑江)



C



センターから  
お知らせ



このたび10月1日よりセンター事務は、神内(じんない)が担当させていただく事になりました。よろしく願い致します。センターに関しご質問などございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。